



予防するには

乳幼児は・・・

- ▶ 赤ちゃんを強く揺さぶらないようにしましょう。
- ▶ 体格にあったチャイルドシートを使用しましょう。



青少年は・・・

- ▶ 子どもが自転車に乗るときはヘルメットを着用しましょう。



高齢者は・・・

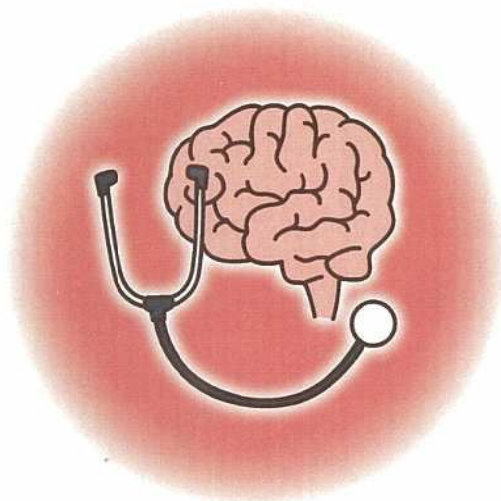
- ▶ 足腰を鍛え、転倒を予防しましょう。
- ▶ 室内の整理、じゅうたん・マットなどの滑り止め、段差解消などで転倒を防ぎましょう。



理解と支援

交通事故の後、数週間たってから集中力の低下や物覚えの悪さが出たが、原因がわからないなど、MTBIと診断されないまま、様々な症状に悩まされている方がいます。

事故後の後遺症による日常生活や社会生活のしづらさについて、私達一人ひとりの理解と支援がもとめられています。



【お問い合わせ・ご相談先】

青戸保健センター	03 (3602) 1284
金町保健センター	03 (3607) 4141
新小岩保健センター	03 (3696) 3781
水元保健センター	03 (3627) 1911

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

えむていーびーあい

MTBIを知っていますか

軽度外傷性脳損傷



えむていーびーあい

MTBI(軽度外傷性脳損傷)とは (Mild Traumatic Brain Injury)

交通事故やスポーツ外傷等で頭部を打ったり、強く揺さぶられた場合に、その衝撃が脳に伝わって脳損傷を引き起こし、脳神経系や全身に様々な症状が出る状態をいいます。原因は、交通事故、スポーツ外傷、転倒・転落、暴力、乳幼児の揺さぶり等、頭部に衝撃を与えるような事象です。

主な原因

揺さぶり



暴力

スポーツ
外傷



高所からの
転落

転倒



交通事故

主な症状

▶手足の動きが悪い、手足の感覚が鈍い
(手足の運動障害と知覚障害)

▶めまい、ものが二重に見える、
ぼやけて見える

▶頭痛、吐き気やおう吐

▶光や音に敏感、バランス障害等

▶てんかん発作(発作性意識障害)

▶記憶力、理解力、注意力、集中力の低下と
情緒不安定(高次脳機能障害)

▶尿や便の出方が今までと違う
(排尿や排便の障害)



MTBIの診断

MTBIは診断が確立していないため、神経学的検査を含む検査と、脳神経外科、神経内科、整形外科、耳鼻科、眼科などの協力による総合的な診断が求められます。



記憶障害、頭痛、めまいなど事故前と異なる症状が持続するときには各専門医療機関の受診をお勧めします。

